

開催日	会議区分		おもな議事内容
	審議会	専門調査委員会	
52.8.31	第1回		1 役員選出 会長に 油井 賢太郎氏 副会長に 太田 緑子氏 を選任 2 福島県高等学校の現状について 3 「高等学校進学率向上の推進について」の諮問の件 4 専門調査委員会の設置について 5 今後の予定について
52.9.26		第1回	1 専門調査委員会設置の経緯と目的について 2 高等学校進学率の現状と問題点の分析 3 研究調査の方法と内容について 4 今後の予定について
52.10.24		第2回	1 調査結果の分析と検討 2 審議資料の作成計画について 3 審議会提出報告書について
52.11.16	第2回		1 専門調査委員会の調査研究経過報告（専門調査員代表2名出席） 2 検討すべき点1 「志願率が高く、収容率の低い地域に対する施策」について
52.12.19		第3回	1 第1次（中間）答申案の作成について
53.1.23	第3回		1 第1次答申案についての審議（専門調査員代表2名出席） 2 第1次の答申について
53.1.30	（会長）		「高等学校進学率向上の推進について」第1次答申

(4) 答 申

(別 紙)

昭和53年1月30日

高等学校進学率向上の推進について
(第1次答申)

福島県教育委員会殿

福島県後期中等教育審議会
会長 油井 賢太郎

高等学校進学率向上の推進について

(第1次答申)

本審議会は、標記について昭和52年8月31日付福島県教育委員会の諮問を受け、そのうち検討すべき点の1. 「志願率が高く収容率の低い地域に対する施策」に関し、専門調査委員会を設け慎重に審議した結果、別紙のとおり結論を得たので第1次答申をいたします。

なお検討すべき点の2. 「志願率も進学率もともに低い地域に対する施策」については、今後継続して審議することにしたので申し添えます。

前 文

最近における高等学校進学率は、県によっては停滞の兆候もみられるが、今後しばらくは全国的に上昇のすう勢にあり、今や高等学校は義務教育に引き続く国民的教育機関と考えられるに至っている。

本県においても進学率向上の社会的要請は今後も高まるであろうし、きたるべき社会においては県民の高い知性の育成が県勢発展の条件として要請されるであろう。

これらの要請に応えるためには、高等学校教育の機会をさらに開く必要があると考える。すなわち県内の地域間にみられる進学の機会の不均衡を是正し、教育の機会均等の理念の実現に積極的に努めなければならない。

本審議会は、諮問された「高等学校進学率向上の推進について」の検討を行い、今回は検討すべき点の1. 「志願率が高く収容率が低い地域に対する施策」に関し、専門調査委員会の調査に基づき慎重に審議したところである。